

新型コロナウイルス感染症への注意喚起と感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症への注意喚起

新型コロナウイルス感染症に関する最新データによると、2025年7月14日～20日の1週間において、神奈川県では1医療機関あたりの平均感染者数が4.00人でした。前週(3.13人)と比較すると感染者数が増大傾向にあるということが分かります。7月の全国での新型コロナウイルス感染症による入院患者数は1,597人に上り、その内70代以上の高齢者の割合が約70%と非常に高くなっています。さらに、集中治療室(ICU)への入室や人工呼吸器が必要な重症患者についても、70代の患者の7.0%、80代以上の患者の4.1%と、高齢者が重症化しやすい傾向が見られます。

感染予防対策について

剣道を行う際は感染予防を徹底し、特に高齢の方や体調が万全でない方を守るためにも、普段の生活から以下の対策をお願いします。

1. 普段から手洗い・手指消毒を徹底しましょう。
2. 面マスクやフェイスシールドの装着をしましょう。
3. 体調が悪いときは稽古を休みましょう。
4. 道場や体育館の換気を頻繁に行ってください。

また、ワクチン接種は特に高齢者や基礎疾患を持つ方の重症化を防ぐ効果があると言われています。

剣道の試合や稽古を安全に続けていくためにも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。